

1. 臨時認知機能検査の新設

改正前は3年に1度の免許証の更新のときだけ受けることとされていた認知機能検査について、一定の違反があれば3年を待たずに受けることとなります。

75歳以上の運転者が、認知機能が低下したときに起こしやすい違反行為（信号無視、通行区分違反等）をしたときは、新設された「臨時認知機能検査」を受けなければなりません。

2. 臨時適性検査制度の見直し

改正前と異なり、運転免許証更新時の認知機能検査で認知症のおそれがあると判断された方は、違反の有無を問わず、医師の診断を受けることとなります。

更新時の認知機能検査または臨時認知機能検査で認知症のおそれがあると判断された方は、医師の診断を受け、または命令に従い主治医等の診断書を提出しなければなりません。

高齢者の交通事故を防ぐには

道路を歩くとき

○反射材用品を身に付ける

夜間の外出は控えましょう。夕暮れから夜間にかけて外出する場合は、ドライバーに早く発見してもらうため、明るい色の服装を心掛け、反射材用品を身に付けましょう。靴のかかと部分に反射材を付けるのが効果的です。

○車や自転車運転するとき

○長年の経験による油断は禁物

長年の経験による油断が生じてはいませんか。走り慣れた道路でも基本に立ち返り、交通ルールを再認識し、適度な緊張感を持って運転しましょう。

○身体機能の変化を理解する

高齢者は自分の身体機能の変化（加齢に伴う動体視力の衰えや反応時間の遅れ）、瞬間的な判断力の低下などを理解して、安全な行動を取りましょう。

○早めのライト点灯

夕暮れから夜間にかけては、歩行者や自転車の発見が遅れがちです。車や自転車を運転するとき、早めにライトを点灯し、速度を控えましょう。また、夜間のライトは上向き前照灯が基本です。こまめに切り替えましょう。

※下向き前照灯は約40m、上向き前照灯は約100m先まで照らすことができます。

○高齢者マークの表示

高齢者マークを表示しましょう。75歳以上のドライバーは、高齢者マークの表示が義務化されています。



シートベルト着用など孫世代の見本となるよう交通ルールを守りましょう。

運転免許を返納するには

高齢者が加害者になる交通事故が全国的に発生していることから、運転免許を自主返納する高齢者が増えています。

運転免許を返納する場合は、運転免許証を持参の上、管内の警察署に返納者が本人が来署してください。「運転免許の取消通知書」を発行します。また、運転免許証に代わる身分証明や本人確認に使用することができる「運転経歴証明書」を交付することもできますので、手続きについては警察署にお問い合わせください。

※運転免許の有効期限を超過し、失効した方は自主返納の対象となりませんのでご注意ください。

▼問合せ 那須塩原警察署
☎0287・67・0110

高齢者の運転免許自主返納を支援します

町は、公共交通機関の利用促進と高齢者の運転による交通事故を減少させることを目的として、自動車運転免許証を自主返納された方に町内公共交通機関で利用できる回数券等を交付しています。

▼支援対象者

那須町の住民基本台帳に記録されている方のうち、65歳以上であって、運転免許証を平成28年4月1日以降に自主返納した方。

▼支援内容

公共交通機関（町民バス・デマンド型乗合交通・福祉タクシ

運転免許を自主返納した

那須高原 中羽健二さん



卸売業という仕事柄、各地を運転し、20年間無事故無違反だった中羽健二さん（81）が運転免許を自主返納したのは、昨年9月の白

1・路線バス）が利用できる回数券のうち、自由な組み合わせにより15,000円以内で交付します。なお、交付は一人一回限りです。

▼申請および交付の方法

・受付場所は総務課および各支所
・回数券は、後日、自宅に郵送します。

▼申請に必要なもの

・警察署で運転免許証を返納した際に渡される「運転免許の取消通知書」の写しまたは「運転経歴証明書」の写し
・印鑑

▼問合せ 総務課総務防災係

☎0287・6901

内障の手術後。それでも安全運転を心掛け、夕方は運転しないなど気を付けていましたが、若者の一時不停止や無理な追い越しに何度もヒヤッとしたそうです。

中羽さんは「事故を起こす前に運転免許を返納して良かった。神奈川県にいた息子も心配していたように、返納したよと言ったらほっとしていた。お年寄りの事故は本人もつらいが、相手はもっとつらい。80歳を過ぎたら運転しない方がいい」と話していました。

現在は、スーパーでの買い物や通院にはタクシーや電車を利用しています。